

新世紀 輝く君の 好奇心

—平成13年度科学技術週間から—

わが国の未来を支える科学技術に対する国民の理解の増進を図り、青少年をはじめ一般の人々が研究者と直接触れ合う機会の充実などの取り組みを一層強化するため、科学技術週間を科学技術理解増進運動と位置づけて、平成13年度の科学技術週間が「新世紀 輝く君の 好奇心」を標語に開催されました。

これにともなう行事として私たちの研究所では、つくば市の本所は4月20日(金)、21日(土)に、長岡雪氷防災研究所と新庄支所は4月20日(金)に一般公開を行いました。さらに、つくば市の本所では、4月21日(土)に小中学校生を対象に「科学実験教室」を開催しました。今年の「科学実験教室」は例年に比べ内容を充実して開催され、研究者が先生になり、手作り地震計を親子で作成性能を確かめたり、地震の波形を音声で聞いたりしました。また、即席のシミュレータを使った雪崩の視覚体験や、ペットボトルを使った地盤液状化現象、またミニ竜巻現象を実際



マルチパラメータレーダ見学の様子

に起こしてみるなど、興味深い実験やお話で多数の親子連れで賑わいました。

本所の施設公開では、大型降雨実験施設を用いて1時間当たり187mmの人工降雨(豪雨)を体験してもらうなど、主な10施設を公開しました。

見学者を対象に行ったアンケート調査には、多数の回答がありました。紙面を借りてお礼を申し上げます。なお、寄せられたご意見や要望は、今後の週間行事等の企画立案に役立ててまいります。

(問い合わせ先：企画部企画課)



「科学実験教室」授業の様相



高感度地震観測網の見学者